

ジロフレックス・スイス本社の歴史

ジロフレックス社の歴史は創立者アルバート・ストール(Albert Stoll)が当時「ウィーンチェア」と呼ばれた椅子を製造開始した 1872 年まで遡る。オフィスチェアが生産製品の主流となりはじめた 1920 年代初期から現在に至るまで、時代の流れとともに変化するオフィスワーカーの多彩なニーズに的確に応える椅子の研究・開発を重ねてきたことにより、ジロフレックスは長年に渡りトップクオリティを誇るオフィスチェア専門メーカーとして高い評価と実績を獲得している。



アルバート・ストール 2 世

ジロフレックス 社歴：

1872 年



アルバート・ストールが木製「ウィーンチェア」の製造を目的にドイツに工場を開設。後に彼の子息であるアルバート・ストール 2 世によって引き継がれる

1919 年



アルバート・ストール 2 世が世界初の回転式オフィスチェアを発表

1927 年



世界初のスプリング回転式チェアを開発

1930 年

世界初のキャスター付スプリング回転式チェアを開発

1948 年

「Girare:回転式」と英語「Flexibility:柔軟性」を語源とし“オリジナル・ストール”から“ジロフレックス”に社名を変更

1952 年



ジロフレックスとして世界規模のネットワークを拡大。海外進出を果たしブラジル支社を設立

1962 年



エルゴノミクス(人間工学)の先駆者、E.グランジャン教授が率いるチューリヒのスイス連邦工科大学 (ETH) 衛生・労働生理学研究室との共同研究を開始。座りのメカニズム、長時間の着座姿勢による人体への影響や問題、人体解剖学・人間工学的「正しい座り」を研究。ジロフレックス社は先進的な「椅子の科学」を取り入れることで多様なワークスタイルに適応する椅子を開発。これを機に従来の椅子のモデルをシリーズ化する

1975 年

共栄工業株式会社と技術提携を締結

1982 年



スイス連邦工科大学の E.グランジャン教授との共同研究により、最新のシンクロムーブ機構が搭載されたシントップ・チェア (Syntop) を発表。販売台数は 150 万台を突破している (2001 年現在)

1998 年



スイス連邦工科大学の人間工学研究室教授 M.グラフとの共同研究により、最新の 2 重等高線座席 (Dual Contour seat) および ME200 機構が搭載されたジロフレックス 64 を発表

2000 年



国際家具見本市オルガテック (ドイツ・ケルン) にてジロフレックス 63 を発表